

ヤマキン銀合金 第 2 種 の特長

製品名	液相点 (℃)	硬さ (HV)	引張強さ (MPa)	伸び (%)	Pd、Pt の含有	用途	特長
ユニシルバー73	655	155	405	5.5	×	インレー クラウン キャストコア※1 3本ブリッジ※2	鑄造性が良く、反復使用しても強度と伸びが安定している。 適度な粘りと強度があり、辺縁強度が得られる。
ユニS	660	170	470	7.5			ヤマキン銀合金で最も高い強度を有している。 適度な伸びで十分な辺縁強度が得られる。
ユニコムPT	680	155	415	13	Pt		優れた靱性と強度を有している。 辺縁が薄いインレーや根管深く挿すキャストコアに適している。
ユニ1-n	690	160	450	6	Pd		ヤマキン銀合金の中で最も高い変色性を有している。 鑄造性や強度に優れ、適度な伸びがありバランスが良い。
シルバー デラックス5	770	135	450	22			高い粘り強さを発揮し、複雑な辺縁封鎖を必要とするインレーや、たわみ 強さを必要とするキャストコアに適している。
ユニコム7	680	165	410	6			強度と伸びが安定しており、操作性も良い。 溶解性が安定しており、反復使用でも取り扱いが容易である。
ユニコム5	700	150	405	7			粘り強く、キャストコアに適している。 十分な辺縁強度が得られる。

※1 強度が不足する形態のキャストコアには、銀合金の使用をお控えください。

※2 3本ブリッジを製作する場合は、連結部の断面積を十分に確保し、歯冠長の短い症例など、
連結部の断面(高さ、厚み)が十分に確保できない場合は銀合金の使用を避けてください。